

鹿瀬工場が最初に生産した製品は？

原因

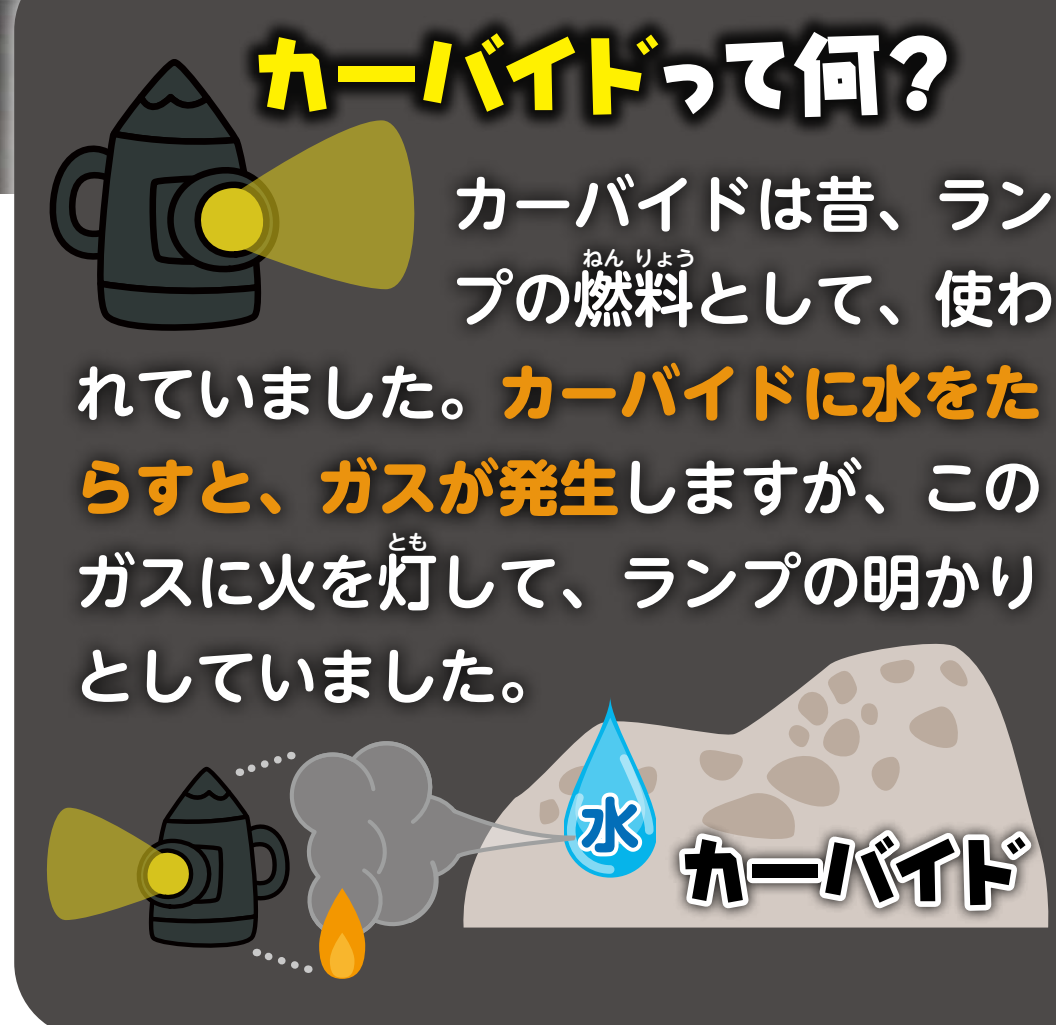
流れのある製品



写真所有：新潟昭和株



出典：「紙芝居『向負の近代産業ものがたり』」（『向負町近代化遺産の光と影を辿じたESD-SDGs』小・中学校向け教材プロジェクト・コンソーシアム）



肥料を袋につめて、ベルトコンベアーに乗せている様子です。



最初の主力製品は「肥料」

工場に運ばれた石灰岩を、電気ので変化させると、カーバイドという物質になります。そのカーバイドをさらに変化させると、「石灰窒素」という肥料が製造できました。

つまり、鹿瀬工場は最初、肥料工場としてスタートしました。



✓ 肥料ができあがるまでの流れ

工場が肥料を生産していた時、新潟水俣病が起こりそうなおそれはありましたか？

肥料は、新潟水俣病を起こしそうな、危険な製品には見えないよね。

肥料ができあがるまでの流れを見ても、有機水銀が発生しそうな危険な部分はないように見えるよ。

では、なぜ新潟水俣病が発生してしまったのでしょうか？

Q パネル21をチェック！

肥料とは別の製品を製造し始めてしまったのかな？……そうだとすると、なぜ、製品を変えてしまったのだろうか？

